

令和6年度 始業式

いよいよ令和6年度が始まりました。新2年生から新6年生のみなさん、進級おめでとうございます。さて、今日から新しい1年の最初の1日がスタートしました。

そこで、やる気いっぱいの方々に、東井義雄（とういよしお）さんの「心のスイッチ」という詩を紹介します。

「心のスイッチ 東井義雄（とういよしお）」

人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見ているも見えない。

人間の耳はふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても聞こえない。

ほんとうにそうだ、と、腹の底まで聞く人もある。

同じように学校に来ていても、ちっともえらくなれない人がある。

毎日、ぐんぐんえらくなっていく人もある。

今までみんなから、つまらない子だと思われていた子でも、

心にスイッチがはいると、急にすばらしい子になる。

心のスイッチが、人間をつまらなくもし、すばらしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。

今日は、みなさんの心のスイッチが入る日です。心のスイッチが入ったら、次は、自分の足で歩き出すことが肝心です。一步ずつ自分のペースで着実に歩み続けましょう。

それではみなさん、新たなめあてをもち、実り多い1年にしていきましょう。